

洋上青年大学体験記

2

洋上大学に

参加して



秋葉 智子

六月十二日から十六日までの五日間、私は県教委主催の洋上

大学に参加しました。小雨の降る中、朝早く家を出、千葉港へと向かいました。

港に八時半頃着き、受け付けをすませるとたぐさんの顔があり、これから出発する嬉しさとここに

いるみんなと五日間一緒に過ごしていくんだなと思いつつながら

開講式が終わりました。

開講式がすむとよいよい出航です。見送りの人達とテープを

投げあつたりし、私達の乗っているカトレア丸はどんとん岸か

最後の五日目は、討議の他に三原山のハイキングが組まれて

いました。もうこの時は五日目ということもあり、グループが

一つの輪となっていました。いよいよ千葉港に近づき閉講

式を残すだけとなった時は「あ

ら離れていきました。

酔うんじゃないかという不安で一日が過ぎました。

二日・三日目は討議・講義・交歓会を行い、四日目は待ちに

まったポートピア見学でした。

二日・三日と過ごしていくうちに仲良くなっていくのがよく

わかりました。

最後の五日目は、討議の他に三原山のハイキングが組まれて

いました。もうこの時は五日目ということもあり、グループが

一つの輪となっていました。いよいよ千葉港に近づき閉講

式を残すだけとなった時は「あ

熱戦続く町内野球大会

第20回大会の二回戦、三回戦、四回戦の結果をお知らせいたします。

二回戦 (七月五日)

篠本二区	6	0	商工会
関ハレケン	5	3	小田部A
東陽クラブA	7	1	椎名畜産
傍示戸	6	5	尾垂浜
三回戦 (七月十二日)			
小川台	3	2	東陽クラブB
篠本メッツ	2	1	谷中A
宝米A	7	1	二又

三回戦 (七月十九日)

光農協	1	0	東食
篠本二区	7	4	宝米B
関ハレケン	9	1	東陽クラブA
東陽クラブA	6	3	傍示戸
四回戦 (七月二十六日)			
篠本メッツ	4	1	小川台
宝米A	7	1	センタク
光農協	4	1	篠本二区
関ハレケン	7	1	東陽クラブA

あ、もう終わりなんだ、まだまだみんなと一緒にいたいな。」と

思い、このまま時間が止まって

くれたら……と、そう願うばかり

でした。しかし、時間は意地

悪に過ぎ、私達は下船となりま

した。

全員港に整列し洋上歌を歌い

ながら船の出でゆくのを見送り

ました。

さすがにこの時は女性だけで

なく、男性も感動し歌が歌えず、

声が詰まっていた。

船の去ったあとは班別となり、

胴上げをする班、乾杯で奇声を

あげる班、「ご苦労様。」「また

会いましょう。」と言葉を交

しながら互いに手を握りあい、

いつまでも別れを惜しんでいま

した。みなどの顔も目が真赤で

涙があり、一時間以上もその場を離れない者ばかりでした。

この洋上大学は、私が今まで

参加した行事の中で、一番思い

出に残る最高のものとなりました。

開講式時に講師の方が、みんなの先輩は、この研修後も同窓

会を行ったりして、今でも仲良く

やっていると話を話さ

れましたが、その時はたつたの

五日間でそこまで仲良くなれる

ものなのかと疑がっていました

が、終わってみるとこのことが

よく理解できました。

私達も来月には同窓会を開く

予定です。

みなさんも機会がありましたら、この洋上大学に参加し若い

力を発揮してみてください。

お米の変った食べ方⑤

串だんご

◎材 料

- 上新粉 300g
- 甘だれの調味料
- 砂糖大さじ8、しょうゆ大さじ3、みりん大さじ1、片栗粉大さじ2~3、水かるく1カップ

◎作り方

- ①底の厚いボールか、こね鉢で1カップ $\frac{1}{4}$ 程度の熱湯を使い上新粉を耳たぶくらいの軟らかさに練る。
- ②一ちぎり大にちぎって布きんを敷いた蒸し器に入れ強火で20分くらい蒸す。
- ③ボールにとり、摺り棒に湯をつけながらよくついて少し冷してから手を使い湯冷しを手水に使いながらなめらかになるまで充分にこねる。
- ④2cm太さの棒状に作り庖丁を濡らしながら適当な大きさに切り丸く作るか、または平たく作るか好みの形に竹串に刺す。
- ⑤両面淡焦色のつく程度に焼いて甘だれをつけて召し上がります。
 - 甘だれは上記の調味料を鍋でかき廻しながら沸騰して1~2分くらい煮ます。
 - 竹串は前もって水に浸し水分をふくませておく方が刺し易い。
 - あんを使う場合は焼かない方がおいしい。